

プロダクトアウト型製品開発における イノベーションデザイン手法とデザイン思考の適用

キヤノン株式会社 沼田 真仁

開発における問題点

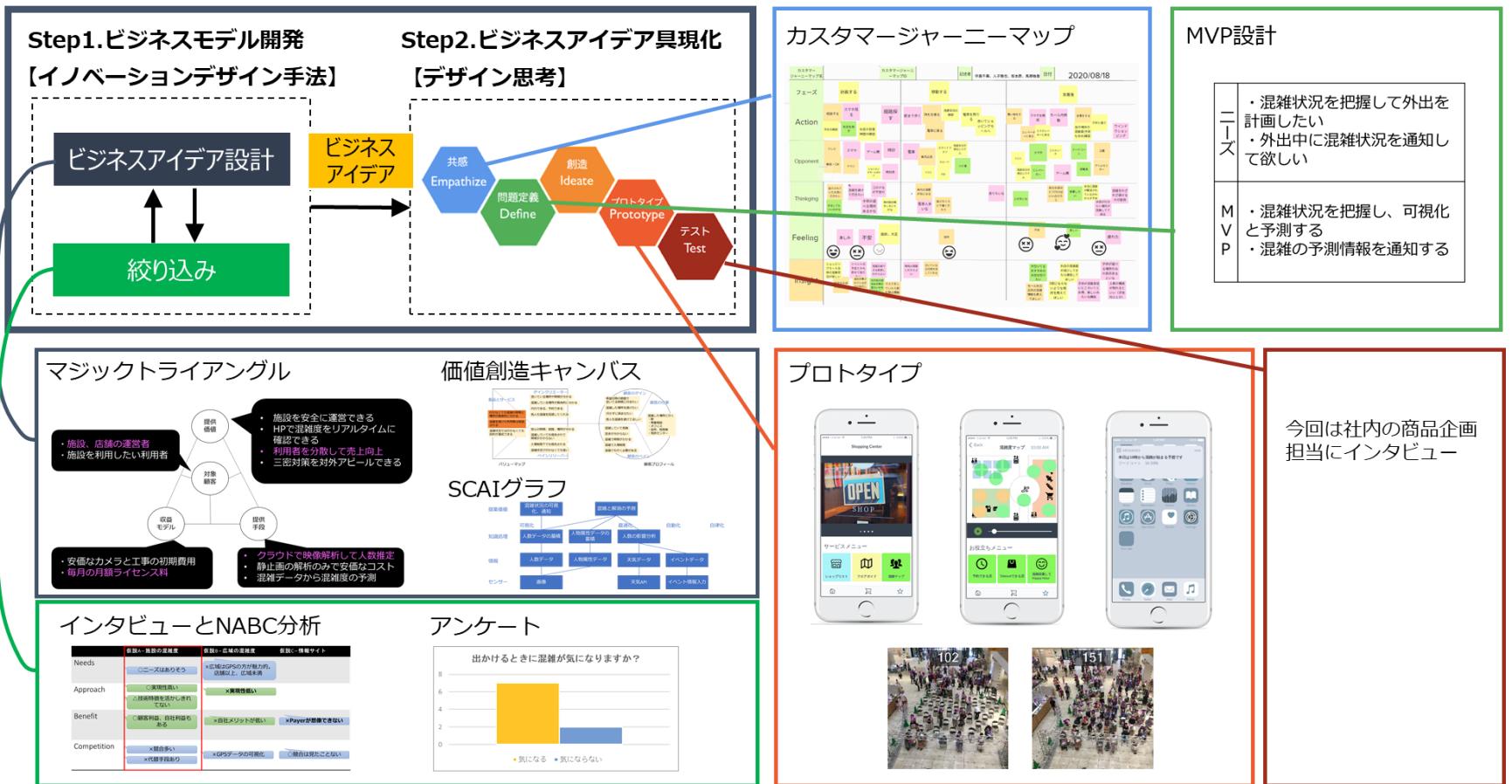
強みである技術力を生かしたサービス/ソリューションを提供し、事業を継続的に成功させたい。しかしながら、技術を中心とした製品開発では、①ビジネスモデルの開発が不十分、②多様化するユーザー要求への適合が困難、という課題がある。

手法・ツールの適用による解決

映像から瞬時に人数をカウントする技術を題材に、①イノベーションデザイン手法を適用したビジネスモデルの開発と、②デザイン思考を適用したユーザー要求獲得とアイデアの具現化を行う。そして、一連のプロセスを方法論化して、その有用性、妥当性、適用可能性を検証する。

イノベーションデザイン手法とデザイン思考を適用したプロセス

全体プロセス



<有用性>

- ・スムーズなビジネスアイデアの創出が可能
- ・革新的なビジネスアイデア創出には他の要素も必要

<妥当性>

- ・カスタマージャーニーマップやプロトタイプングツールは、高い費用対効果

<適用可能性>

- ・プロセス化したことで、他の題材でも適用可能

まとめと今後の取組み

アイデア創出から具現化までをプロセス化し、手法の有用性を確認できた。

<今後の取組み>

自組織の組織構造と製品化プロセスに本プロセスを適合させて、組織内に展開する